



大樹のこころ

一家庭一支援での大掃除

早いもので12月も半ば。2022年が終わろうとしています。この師走の時期の風物詩と言えば大掃除です。どの学校でも学期末に行われますが、本校ではPTAの一家庭一支援活動とコラボしての清掃活動が実施されました。一支援として参加して下さった保護者の方は、約60名。寒い中での参加に頭が下がる思いです。体育館でPTA会長の挨拶があり、その後注意事項の伝達が行われました。手伝っていただく活動は、「窓ふき」「手洗い場の掃除」「ワックスがけ」。清掃活動に危険が伴い、日頃子供たちが掃除ができない箇所です。



この大掃除には、当然子供たちも参加します。清掃活動は億劫なもので、サボりたくなるものですが、なぜか子供たちは「大掃除」が大好き。廊下に机や椅子が出され、がらんとした教室を見てテンションが上がるからでしょうか。今回は特に保護者が一緒に掃除をしてくれることで、いつも以上に意欲が高まります。ほうきで掃く子も雑巾がけをする子も「わっしょい、わっしょい」といった感じ。明るい声が校舎内に響き渡り、まるで清掃が「遊び」のようです。



一支援の保護者の方も大活躍。窓ふきに手洗い場にワックスがけにと大忙しです。大人の力は、やはり偉大です。薄汚れていたような窓や手洗い場が、みるみるきれいになっていきます。人手が足りず、なかなか実施できない特別教室にもワックスが塗られていきます。本当に気持ちがいい。特に自分が嬉しく感じたのが、一支援の方々が「楽しそうに」掃除をしてくださっていたことです。この姿は、子供たちにも届いていると感じました。子供たちは、清掃活動の価値に気付いていくくれたと思います。



無事に終わった大掃除。すっかり校舎内が美しくなりました。今年の厄をきれいに払い、新年への清めができたような気がします。いよいよ来年は大河ドラマ「どうする家康」が放映されます。それに向けての良い準備となりました。一家庭一支援の保護者の皆様、本当にありがとうございました。



寒い時期になり、岡崎市内の新型コロナウイルスの感染が拡大してきています。幸い本校の感染状況は落ち着いていますが、他校では学級閉鎖も出ているようです。油断は大敵。引き続き感染予防に努めていただきたいと思います。家族が発熱等風邪症状の場合、登校を控えてください。また家族がPCR検査を受けた場合も結果が分かるまで、同様をお願いしたいと思います。

